

太田小学校屋内体育館耐震補強工事

発注図

新潟市建築部公共建築第1課

新潟市建築設計協同組合

図面リスト					
番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
A-1	図面リスト・設計概要	FREE	S-1	構造特記仕様書	FREE
A-2	特記仕様書 1	FREE	S-2	小屋伏図・断面リスト	1/100
A-3	特記仕様書 2	FREE	S-3	軸組図	1/100
A-4	特記仕様書 3	FREE	S-4	補強鉄骨詳細図	1/20
A-5	特記仕様書 4	FREE	S-5	増設水平ブレース詳細図	1/20
A-6	配置図・付近見取図	1/400			
A-7	1階平面図	1/100			
A-8	2階平面図	1/100			
A-9	立面図 1	1/100			
A-10	立面図 2	1/100			
A-11	矩計図（改修前）	1/30			
A-12	矩計図（改修後）	1/30			
A-13	展開図	1/50			
A-14	便所平面詳細図（改修前、改修後）	1/50			
A-15	便所展開図・建具表	1/50			

設計概要		
一般事項	工事名称	太田小学校屋内体育館耐震補強工事
	建設地	新潟市北区太田817
	建築用途	小学校（屋内体育館）
	工事種別	耐震補強工事
	都市計画区域内外の別	都市計画区域内
	用途地域	指定なし
	防火地域	指定なし
	建ぺい率	70%
	容積率	200%
	日影規制	指定なし
その他地域・地区	建築基準法第22条地域	
施設概要	建築年	昭和49年（1974年）
	構造	1階：鉄筋コンクリート造、2階：鉄骨造
	最高の高さ	11.07m
	軒高	7.72m
	敷地面積	16822.00㎡
	建築面積	754.31㎡（屋内体育館）
	延べ床面積	783.36㎡（屋内体育館）

工事概要		
補強工事	その他工事	
・桁ブレースの増設 全6箇所	・ガラス面飛散防止フィルム貼（内面）新設	
・桁梁の増設 全8箇所	・ガラス周りガスケットおよびシーリングの取替え	
・屋根ブレースの増設 全8箇所	・便器改修に伴うトイレ改修	
・既設桁ブレース撤去 全2箇所	・設備工事の概要（別途工事）	
	1) 男女各1ヶ所の大便器を洋風便器に取り替え。	
	2) 洋風便器、水飲み場の給水を直結給水方式に変更。	
	3) 直結給水式の屋外水栓柱の設置	
	4) 便所の換気設備の設置（天井埋込換気扇）	

平成21年度太田小学校屋内体育館耐震補強工事設計図

仕様書

1 共通仕様

- 1.本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成19年版」（以下「標仕」という。）による。
2.標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。
(1)「契約書」を「新潟市契約規則による概算規定（昭和41年4月1日訓令第9号）別記様式第6号の2の工事請負契約約款、及びその他の関連要綱」（以下「約款等」という。）に読み替える。
(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。
3.次の各号に該当する標仕の項目について、標仕の規定を別表に置き換えて適用する。
(1) 1章 1.1.2用語の定義の(1)、(12)及び(19)
(2) # 1.4.2材料の品質の(a)及び(b)
(3) # 1.4.4材料の検査等の(a)
(4) # 1.6.1工事検査の(b)及び(d)
4.次に掲げる標仕の規定は、適用しない。
1章 1.1.2 用語の定義の(20)
1.6.2 技術検査

別表（建築工事）

Table with 3 columns: No., Item, and Specification. It details various construction items such as 'General Provisions', 'Terminology', 'Material Quality', 'Material Inspection', and 'Construction Work' with specific sub-requirements.

II 特記仕様

- 1.項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2.特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
3.特記事項に記載の()内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
なお、(別)は別図「各部配筋」の当該番号を表す。
4.製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。

Main specification table with columns: Item, Particulars, and Remarks. It covers structural elements like 'Foundation', 'Concrete', 'Reinforcement', 'Formwork', and 'Construction Management'.

Structural design details table with columns: No., Particulars, and Remarks. It provides specific technical requirements for 'Foundation', 'Concrete', 'Reinforcement', 'Formwork', 'Scaffolding', 'Fire Protection', and 'Construction Management'.

Table with columns: No., Particulars, and Remarks. It details requirements for 'Concrete', 'Reinforcement', 'Steel', and 'Fire Protection'.

Table with columns: No., Particulars, and Remarks. It details requirements for 'Concrete', 'Reinforcement', 'Steel', 'Fire Protection', and 'Construction Management'.

17 ガラス用フィルム (16.13.5)
18 ①材料 (18.1.3)
②素地ごしらえ (18.2.7)
③塗装業者
19 1 接着剤 (19.2.2)
2 ビニル床シート張り (19.2.2)
3 ビニル床タイル張り (19.2.2)
4 誘導用、注意喚起用床材 (19.2.2)
5 ビニル幅木 (19.2.2)
6 帯電防止床材張り (19.2.2)
7 カーペット敷き (19.3.2)

8 合成樹脂塗床 (19.4.2)
9 床用塗料塗り (19.4.1)
10 防塵用塗料塗り (19.4.1)
11 フローリング張り (19.5.2)
12 畳敷き (19.6.2)
13 セッコウボード (19.7.2)
14 吸音材 (19.7.2)
15 壁紙張り (19.8.2)
16 断熱材 (19.9.2)

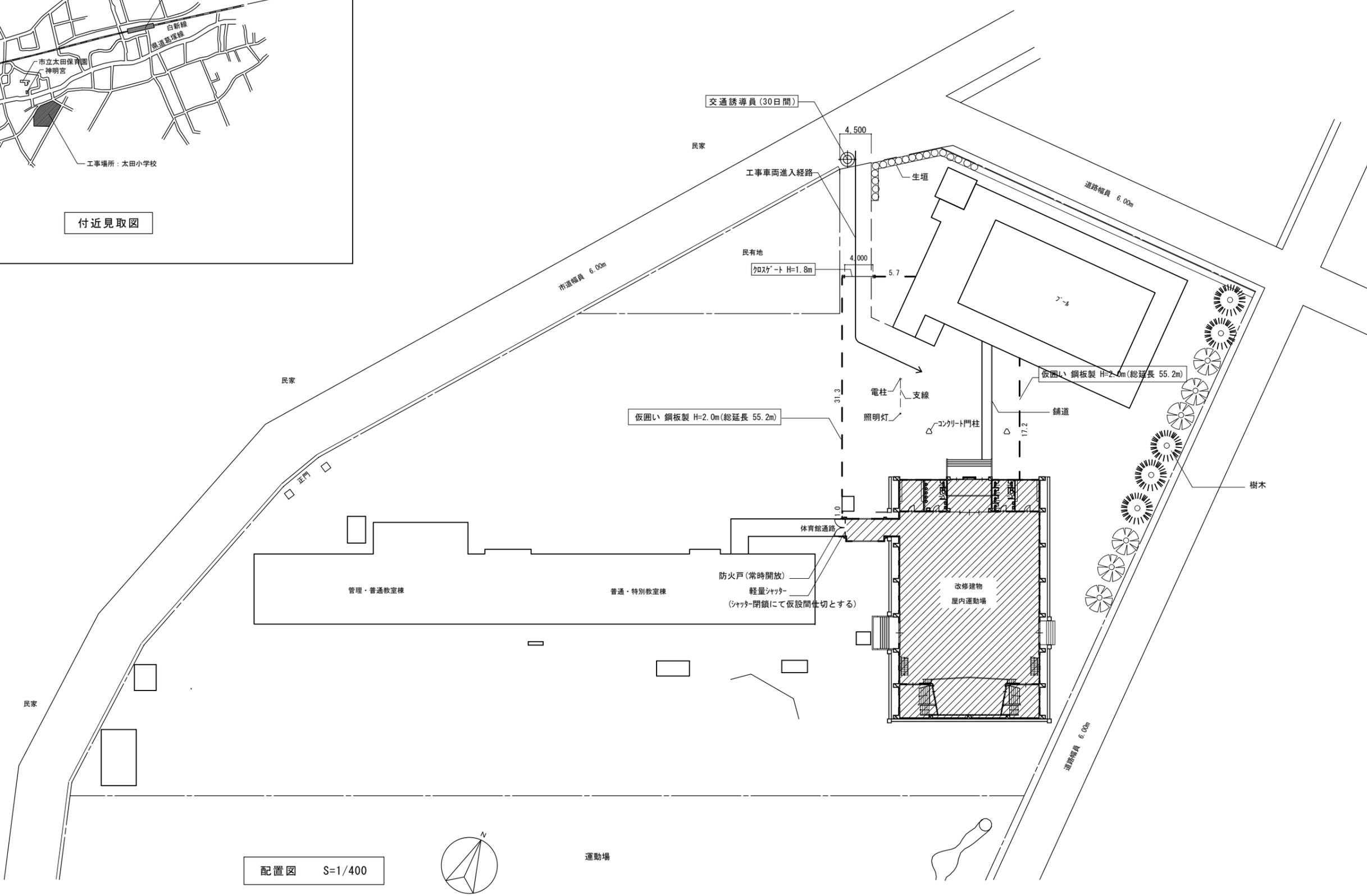
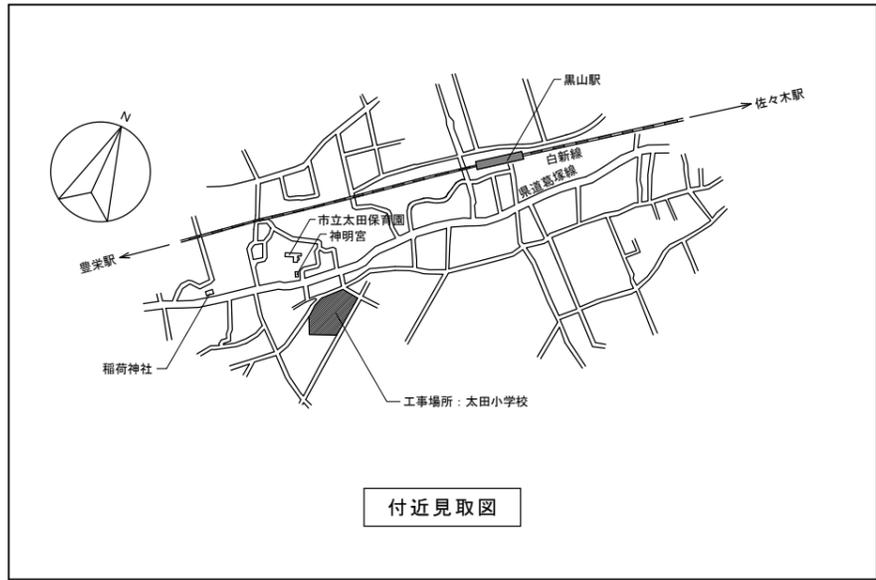
20 1 基本要品質 (20.1.2)
2 耐震スリット (20.2.2)
3 フライアタック (20.2.2)
4 可動間仕切り (20.2.3)
5 移動間仕切り (20.2.4)
6 トイレブース (20.2.5)
7 階段滑止め (20.2.6)
8 階段手すり (20.2.8)
9 黒板及びホワイトボード (20.2.8)
10 ブラインド (20.2.12)
11 フライントガラス及びガラスブロック (20.2.12)

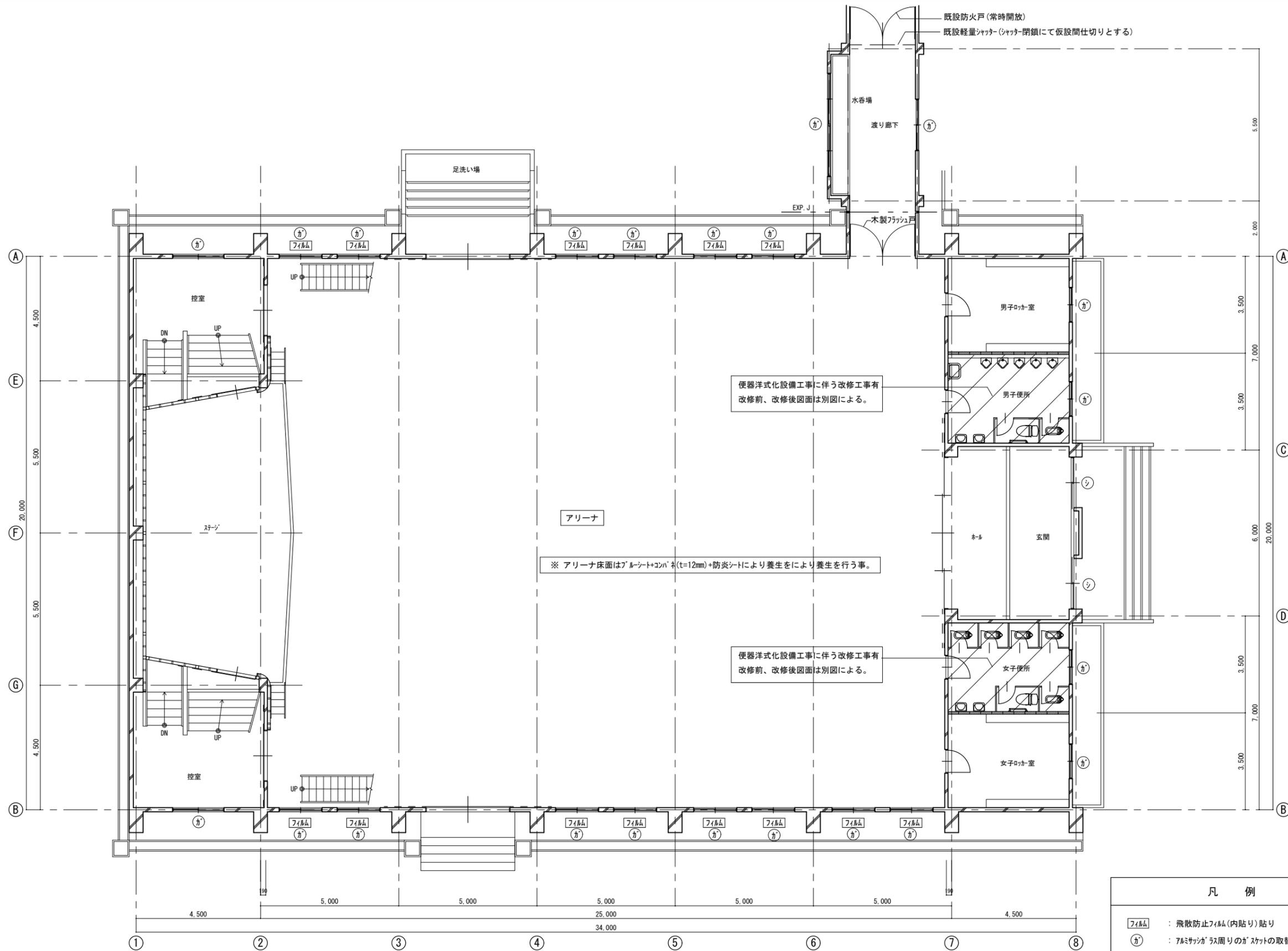
12 ロールスクリーン (20.2.13)
13 カーテン及びカーテンレール (20.2.14)
14 ピクチャーレール (20.2.14)
15 天井点検口 (20.2.14)
16 床点検口 (20.2.14)
17 積雪表示板 (20.2.14)
18 室名札 (20.2.14)
19 かぎ箱 (20.2.14)
20 くつふまマット (20.2.14)
21 流し台ユニット (20.2.14)
22 屋内掲示板 (20.2.14)
23 洗面カウンター (20.2.14)
24 敷地境界石標 (20.2.14)
25 収納・収納家具 (20.2.14)
21 排水管 (21.2.1)

21 排水工 事	2 排水網及びふた	<p>鉄製マンホールふた (21.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>適用荷重</th> </tr> <tr> <td>・水封形 ・簡易気密形 (n'タイプ)</td> <td>・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-20 用</td> </tr> <tr> <td>・密閉形 (n'-n'-n'タイプ)</td> <td>・中ふた付密閉形</td> </tr> </table> <p>ケレフィンふた (21.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>種 類</th> <th>適用荷重</th> <th>フタの形状</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製 ・ステンレス製</td> <td>※受付付き ・</td> <td>・溝ふた用 ・</td> <td>・ T-2 用 ・</td> <td>※細目</td> <td>※凹凸形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※固定 ・</td> <td>・かさ上げ用 ・ U字溝用</td> <td>・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用</td> <td>※細目</td> <td>・凹凸形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 類	適用荷重	・水封形 ・簡易気密形 (n'タイプ)	・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-20 用	・密閉形 (n'-n'-n'タイプ)	・中ふた付密閉形	材 質	形 式	種 類	適用荷重	フタの形状	上面形状	・鋼製 ・ステンレス製	※受付付き ・	・溝ふた用 ・	・ T-2 用 ・	※細目	※凹凸形		※固定 ・	・かさ上げ用 ・ U字溝用	・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用	※細目	・凹凸形		・図示																																										
	種 類	適用荷重																																																																				
	・水封形 ・簡易気密形 (n'タイプ)	・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-20 用																																																																				
・密閉形 (n'-n'-n'タイプ)	・中ふた付密閉形																																																																					
材 質	形 式	種 類	適用荷重	フタの形状	上面形状																																																																	
・鋼製 ・ステンレス製	※受付付き ・	・溝ふた用 ・	・ T-2 用 ・	※細目	※凹凸形																																																																	
	※固定 ・	・かさ上げ用 ・ U字溝用	・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用	※細目	・凹凸形																																																																	
	・図示																																																																					
3 埋戻し土	※B種 ・建設汚泥から再生した処理土 (21.2.3)																																																																					
22 舗装 工 事	1 盛土に用いる材料	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表23.2.1)																																																																				
	2 凍上抑制層の材料	※再生クワツァーラン ・クワツァーラン 切り込み砂利 (22.2.3)																																																																				
	3 路床安定処理	※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)																																																																				
	4 路床の試験	・支持力試験を行う (※乱した土 ・乱さない土) (22.2.5) ・路床締固め度の試験を行う ・砂の粒度試験を行う																																																																				
	5 路盤材料	※再生クワツァーラン(RC-40) (22.3.3)(表22.3.3) ・クワツァーラン(C-40)又はクワツァーラン鉄鋼鋼スラグ(CS-40) ・粒度調整砕石																																																																				
	6 路盤の締固め度試験	※行う (22.3.5)																																																																				
	7 アスファルト舗装	(22.4.2)(表22.4.1)	舗装の種類	車道部の基層	路-舗装の種類	※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物	・路-舗装	※無し ・有り	・	路-舗装の着色骨材	・有色骨材 (焼成)	・着色骨材 (樹脂被覆)																																																								
舗装の種類	車道部の基層	路-舗装の種類																																																																				
※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																				
・路-舗装	※無し ・有り	・																																																																				
路-舗装の着色骨材	・有色骨材 (焼成)	・着色骨材 (樹脂被覆)																																																																				
23 追 加 特 記	アスファルト ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト (22.4.3)																																																																					
	加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4)(表22.4.6)	区 分	一般地域	※寒冷地域	表 層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度キヤリアントメントアスファルト混合物(13F)	基 層	・粗粒度アスファルト混合物(20)		シールド ※行わない ・行う(施工範囲:) (22.4.5)	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)	8 コンクリート舗装	早強メント ※使用しない ・使用する (22.5.3) 注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3) 溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3)(22.5.4)	9 透水性アスファルト舗装	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.6.6) 厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)	10 排水性アスファルト舗装	排水性舗装用アスファルト混合物 (22.7.3)(表22.7.2) ※改質アスファルトII種 ・改質アスファルトI種 クワコト用コム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)(表22.7.3)	適用時期	種 類	下記以外	P K R - T 1	冬 期	P K R - T 2	11 ブロック系舗装	・コッタート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N)	・ 300角	※60	※砂	・洗出平板(W)	・ 縦石平板(S)		・モザイク	種 類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等	※普通タイプ	5.0N/mm ² 以上	車道部 ※80 ・	※標準タイプ	・誘導、注意喚起用タイプ		歩道部 ※60 ・	・表面化粧タイプ	・透水性タイプ	3.0N/mm ² 以上		誘導、注意喚起用	・植生タイプ	4.0N/mm ² 以上	※80 ・ 100	は黄色とする	種 類	厚さ(mm)	施工方法	基 層	※小鋪石(花崗岩)	※80~100	※うろこ張り	※コンクリート舗装	・			・アスファルト舗装
	区 分	一般地域	※寒冷地域																																																																			
	表 層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度キヤリアントメントアスファルト混合物(13F)																																																																			
	基 層	・粗粒度アスファルト混合物(20)																																																																				
	シールド ※行わない ・行う(施工範囲:) (22.4.5)																																																																					
	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)																																																																					
	8 コンクリート舗装	早強メント ※使用しない ・使用する (22.5.3) 注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3) 溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3)(22.5.4)																																																																				
	9 透水性アスファルト舗装	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.6.6) 厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)																																																																				
	10 排水性アスファルト舗装	排水性舗装用アスファルト混合物 (22.7.3)(表22.7.2) ※改質アスファルトII種 ・改質アスファルトI種 クワコト用コム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)(表22.7.3)	適用時期	種 類	下記以外	P K R - T 1	冬 期	P K R - T 2																																																														
	適用時期	種 類																																																																				
下記以外	P K R - T 1																																																																					
冬 期	P K R - T 2																																																																					
11 ブロック系舗装	・コッタート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N)	・ 300角	※60	※砂	・洗出平板(W)	・ 縦石平板(S)		・モザイク	種 類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等	※普通タイプ	5.0N/mm ² 以上	車道部 ※80 ・	※標準タイプ	・誘導、注意喚起用タイプ		歩道部 ※60 ・	・表面化粧タイプ	・透水性タイプ	3.0N/mm ² 以上		誘導、注意喚起用	・植生タイプ	4.0N/mm ² 以上	※80 ・ 100	は黄色とする	種 類	厚さ(mm)	施工方法	基 層	※小鋪石(花崗岩)	※80~100	※うろこ張り	※コンクリート舗装	・			・アスファルト舗装																									
種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																																																			
※普通平板(N)	・ 300角	※60	※砂																																																																			
・洗出平板(W)	・ 縦石平板(S)		・モザイク																																																																			
種 類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等																																																																			
※普通タイプ	5.0N/mm ² 以上	車道部 ※80 ・	※標準タイプ																																																																			
・誘導、注意喚起用タイプ		歩道部 ※60 ・	・表面化粧タイプ																																																																			
・透水性タイプ	3.0N/mm ² 以上		誘導、注意喚起用																																																																			
・植生タイプ	4.0N/mm ² 以上	※80 ・ 100	は黄色とする																																																																			
種 類	厚さ(mm)	施工方法	基 層																																																																			
※小鋪石(花崗岩)	※80~100	※うろこ張り	※コンクリート舗装																																																																			
・			・アスファルト舗装																																																																			

24 追 加 特 記	12 区画線	路面表示用塗料					
	舗装工事	規格番号	種 類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	適用
		JIS K 5665	・1種	常温	液状	幅 ※150	※白 ・黄
植栽工事	2 樹木の植栽整備	揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。					
	1 土壌の酸性、水溶性塩類(EC)の試験 (23.1.3)	※行う					
25 追 加 特 記	3 植込み用土	芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)					
		適用	有効土層の厚さ(mm)	工 法	整備範囲		
	4 土壌改良材	※行う ・行わない ※20 ・ ※8種 ・ ※植栽範囲 ・ 図示					
	5 支柱材	樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)					
26 追 加 特 記	6 幹巻き用材料	樹木の樹高(m)					
	7 芝張り	有効土層の厚さ(cm)					
	8 枯補償及び枯損処理	工 法					
	9 屋上緑化システム	※12以上 ※100 ・ ※A種 ※葉張りの範囲					
	① 室内空気有機化学物質低減対策	・7以上~12未満 ※80 ・ ※B種 ※葉張りの範囲					
		・3以上~7未満 ※60 ・ ※C種 ・ 図示					
	・3未満 ※50 ・ ※D種						
	工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。						
	※現場発生土の良質土 ・客土(※畑土 ・黒土) (23.3.2)						
	※適用する (23.2.3)(23.2.4)						
施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示							
※防腐処理杉丸太 ・杉の焼き丸太 ・竹 (23.3.2)							
※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)							
種類 ※こらい芝 ・野芝 (23.4.2)							
期間 ※引渡しの日から1年間 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5)							
土壌層 ※改良土 ・人工軽量土 (23.5.2)(23.5.3)							
厚さ mm							
保水・排水層 ・軽量骨材層(厚さ mm) ・板状成形品 (23.5.3)							
※「屋根ふき材及び屋外に面する構壁の風圧に対する構造体上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付け 建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める							
② 環境技術の適正化							
③ ユニバーサルデザイン							
④ アスベスト含有建材の除去							
⑤ アスベスト含有成形板の除去							

24 追 加 特 記	4) 測定対象物質 別表A	文科省基準値ppm	μg/m ³																																																						
	※ホルムアルデヒド	0.08	100																																																						
	※トルエン	0.07	260																																																						
	※キシレン	0.20	870																																																						
	※パラジクロロベンゼン	0.04	240																																																						
	※ステレン	0.05	220																																																						
	※エチルベンゼン	0.88	3800																																																						
	測定対象物質 別表B	厚労省指針値ppm	μg/m ³																																																						
	※クロロピリロス	0.000007	0.1																																																						
	※フタル酸ジ-n-ブチル	0.02	220																																																						
※テトラデカン	0.04	330																																																							
※フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	0.0076	120																																																							
※ダイアジノン	0.00002	0.29																																																							
※フェノプロカルブ	0.0038	33																																																							
※アセトアルデヒド	0.03(改訂中0.17)	48(改訂中270)																																																							
5) 測定室	・改修工事の事前及び施工後(13物質)測定室数 1室(監督員の指定した室) ・改築等新営工事の施工後(13物質)測定室数 1室(監督員の指定した室) ※施工後(別表A6物質)測定室数(1)室(監督員の指定した室)																																																								
6) 測定方法	測定機器																																																								
測定機器	最新の文部科学省学校環境衛生基準に認められている測定機器																																																								
測定要領	最新の文部科学省学校環境衛生基準による「臨時環境衛生検査」の測定方法																																																								
7) 測定結果の分析	測定対象化学物質を採取した検体を分析機関に依頼する。測定方法及び検体の種類ごとに、分析機関が異なることも認めるものとする。																																																								
8) 測定結果が指針値を超えた場合の措置	測定結果が指針値を超えた場合は、原因究明とともに換気適風又は低減物質の付与等の措置を講じ、再度測定を行い基準値以内であることを確認を、関連請負者が連携して行う。																																																								
9) 報告書の提出	完了検査日までに報告書を提出する。 ○部分使用の承諾をする場合は、使用日の前日までにする。																																																								
10) その他	※建築材料等の選択、測定方法などで上記によりがたい場合は監督員と協議を行う。 ※関連の各請負者の役割分担は、別表Cによる。																																																								
別表C	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">発注工事種別</th> <th colspan="5">役割分担区分</th> <th rowspan="2">改善措置</th> </tr> <tr> <th>空気調査</th> <th>測定報告</th> <th>材料選定</th> <th>台帳作成</th> <th>台帳まとめ</th> </tr> <tr> <td>・建築工事</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・電気設備工事</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・給排水衛生設備工事</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・冷暖房換気設備工事</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			発注工事種別	役割分担区分					改善措置	空気調査	測定報告	材料選定	台帳作成	台帳まとめ	・建築工事	○	○	○	○	○	○	・電気設備工事			○	○		○	・給排水衛生設備工事			○	○		○	・冷暖房換気設備工事			○	○		○	・工事							・工事						
発注工事種別	役割分担区分					改善措置																																																			
	空気調査	測定報告	材料選定	台帳作成	台帳まとめ																																																				
・建築工事	○	○	○	○	○	○																																																			
・電気設備工事			○	○		○																																																			
・給排水衛生設備工事			○	○		○																																																			
・冷暖房換気設備工事			○	○		○																																																			
・工事																																																									
・工事																																																									
② 環境技術の適正化	※工事の施工に当たっては、地球環境保全のため、新潟市環境基本計画及び新潟市公共工事環境配慮指針などにより省エネルギー、省資源等に関する技術の適用に努める。																																																								
③ ユニバーサルデザイン	※工事の施工に当たっては、「新潟市公共建築物ユニバーサルデザインガイドライン」の考え方に基づき施工に努める。																																																								
④ アスベスト含有建材の除去	施工調査 [公共建築改修工事標準仕様書 9.1.1] 分析によるアスベスト含有の調査 ・行う ○行わない アスベスト粉じん濃度測定 ・行う ○行わない 測定方法 ※「JIS K3850 -1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。 測定機関 ※厚生労働省新潟労働局に登録されている作業環境測定機関とする。																																																								
⑤ アスベスト含有成形板の除去	除去工法 [9.1.3] ※「改修仕様」9.1.3による。 除去したアスベスト含有吹付け材の処理 [9.1.3] ※密封処理(二重袋梱包) ・セメント固化 除去工法 [9.1.4] ※粉じん飛散抑制剤等による湿潤化の後、手ばらしで行う。 ・掻き落とし・破砕・切断等による除去を行う。 ※[9.1.3 アスベスト含有吹付け材の除去]により、作業場を隔離する。 養生等 [9.1.5] 建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、閉鎖部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で閉となっている部位を養生シート等で高く。																																																								
アスベスト成形板の種類	<table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>使用部位</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			材料名	使用部位	厚さ(mm)	備考																																																		
材料名	使用部位	厚さ(mm)	備考																																																						





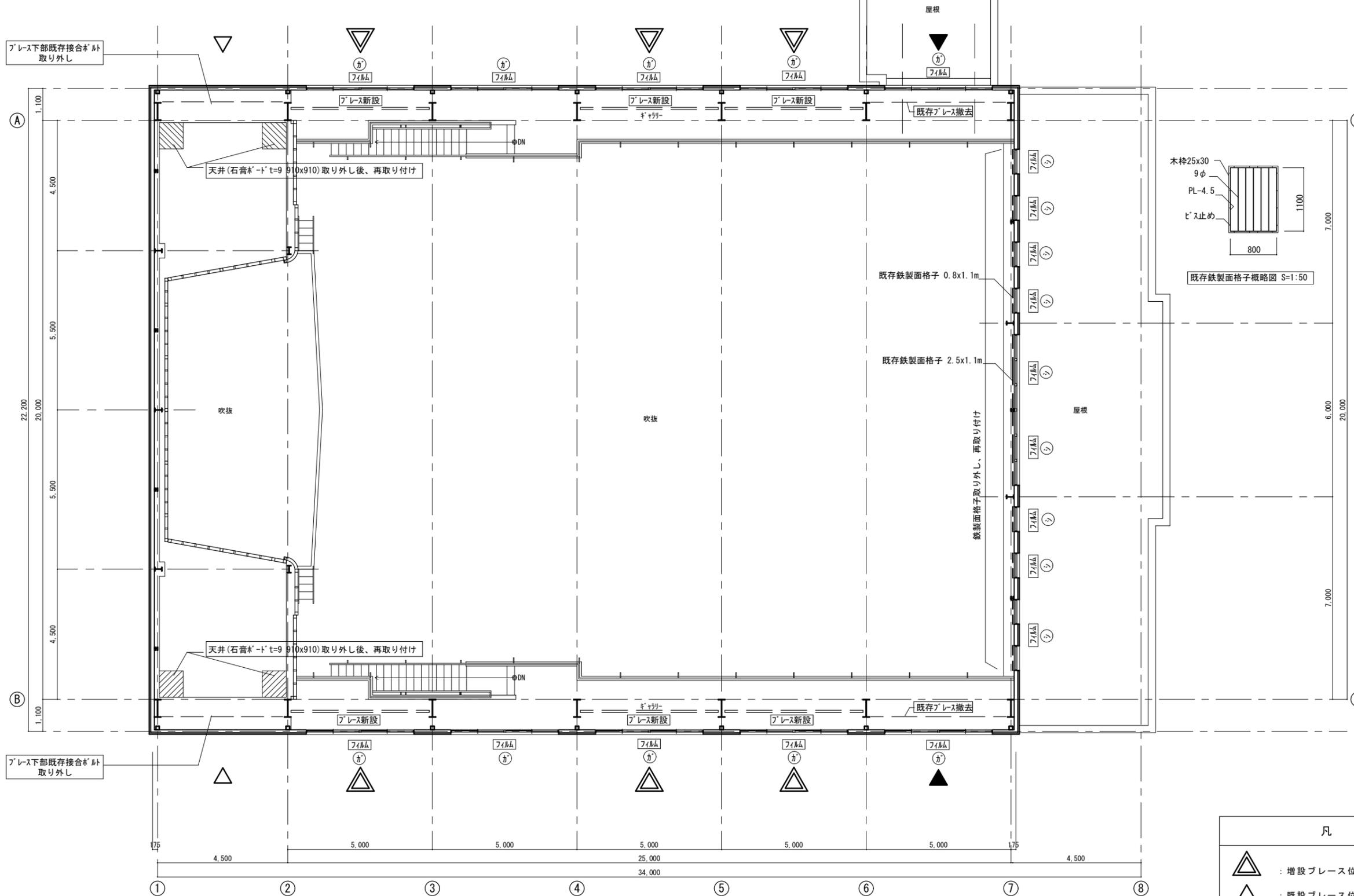
便器洋式化設備工事に伴う改修工事は
改修前、改修後面は別図による。

便器洋式化設備工事に伴う改修工事は
改修前、改修後面は別図による。

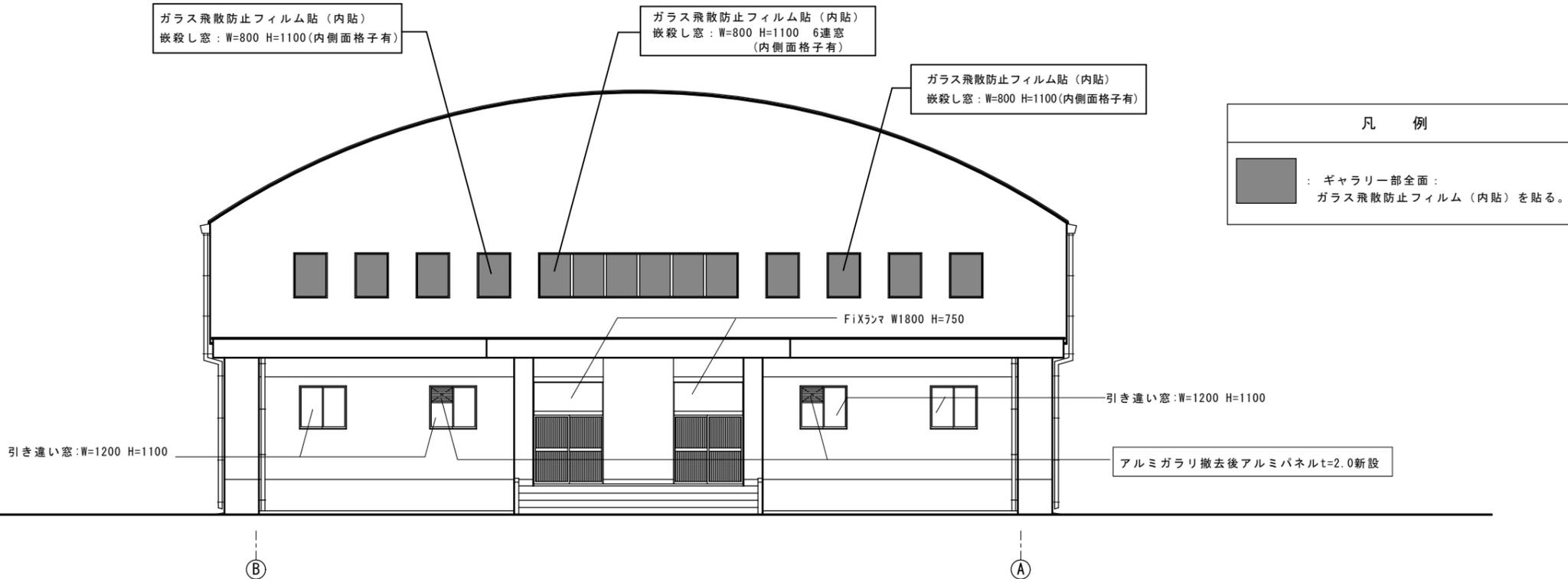
アリーナ
※ アリーナ床面はブルーシート+コンパネ(t=12mm)+防災シートにより養生をにより養生を行う事。

凡例	
フィルム	: 飛散防止フィルム(内貼り)貼り
カ	: 70mmサッシがラシ周りのがスケットの取替えを示す。
シ	: 70mmサッシがラシ周りのシーリングの取替えを示す。

1階 平面図 S=1/100

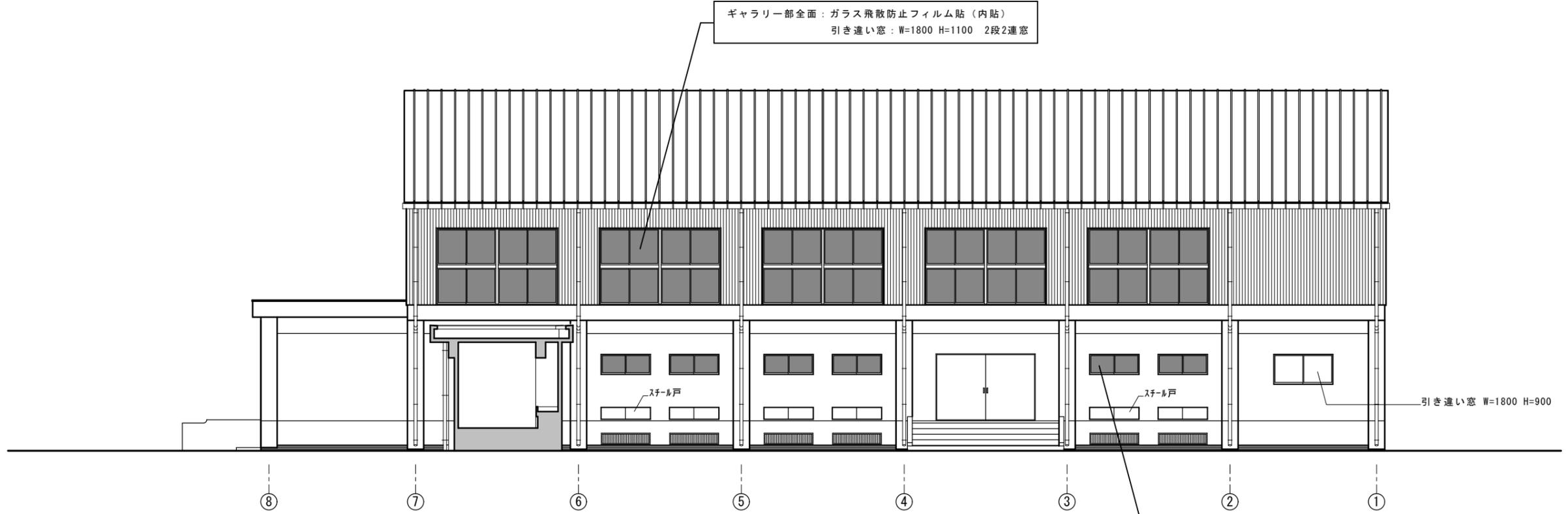


凡 例	
	: 増設ブレース位置を示す
	: 既設ブレース位置を示す (下部ボルト取り外し)
	: 既設ブレース撤去位置を示す
	: 飛散防止フィルム(内貼り)貼り
	: アルミサッシ周りのガスケットの取替えを示す。
	: アルミサッシ周りのシーリングの取替えを示す。



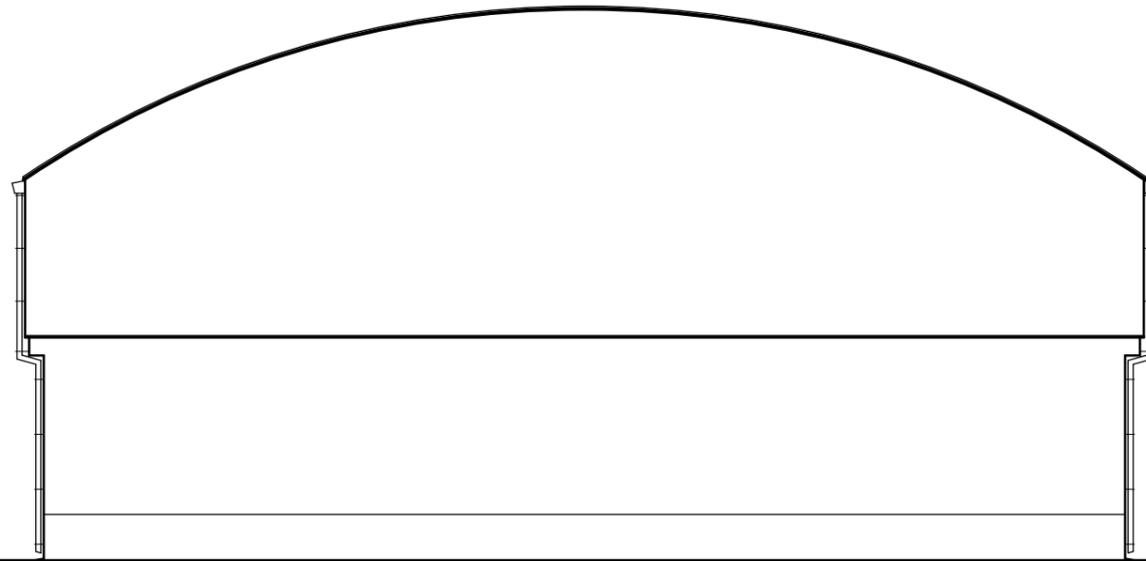
凡 例	
	: ギャラリー部全面 : ガラス飛散防止フィルム (内貼) を貼る。

北側 立面図 S=1/100



東側 立面図 S=1/100

共通事項 : アルミサッシガラス周りのガスケット (引き戸部分) 及び
ガラスシーリング (FIX窓部分) を全て取り替える事。



凡 例	
■	： ギャラリー部全面： ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）

Ⓐ

Ⓑ

南側 立面図 S=1/100

ギャラリー部全面：ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）
引き違い窓：W=1800 H=1100 2段2連窓



引き違い窓 W=1.8 H=0.9

スチール戸

スチール戸

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

西側 立面図 S=1/100

共通事項：アルミサッシガラス周りのガスケット（引き戸部分）及び
ガラスシーリング（FIX窓部分）を全て取り替える事。

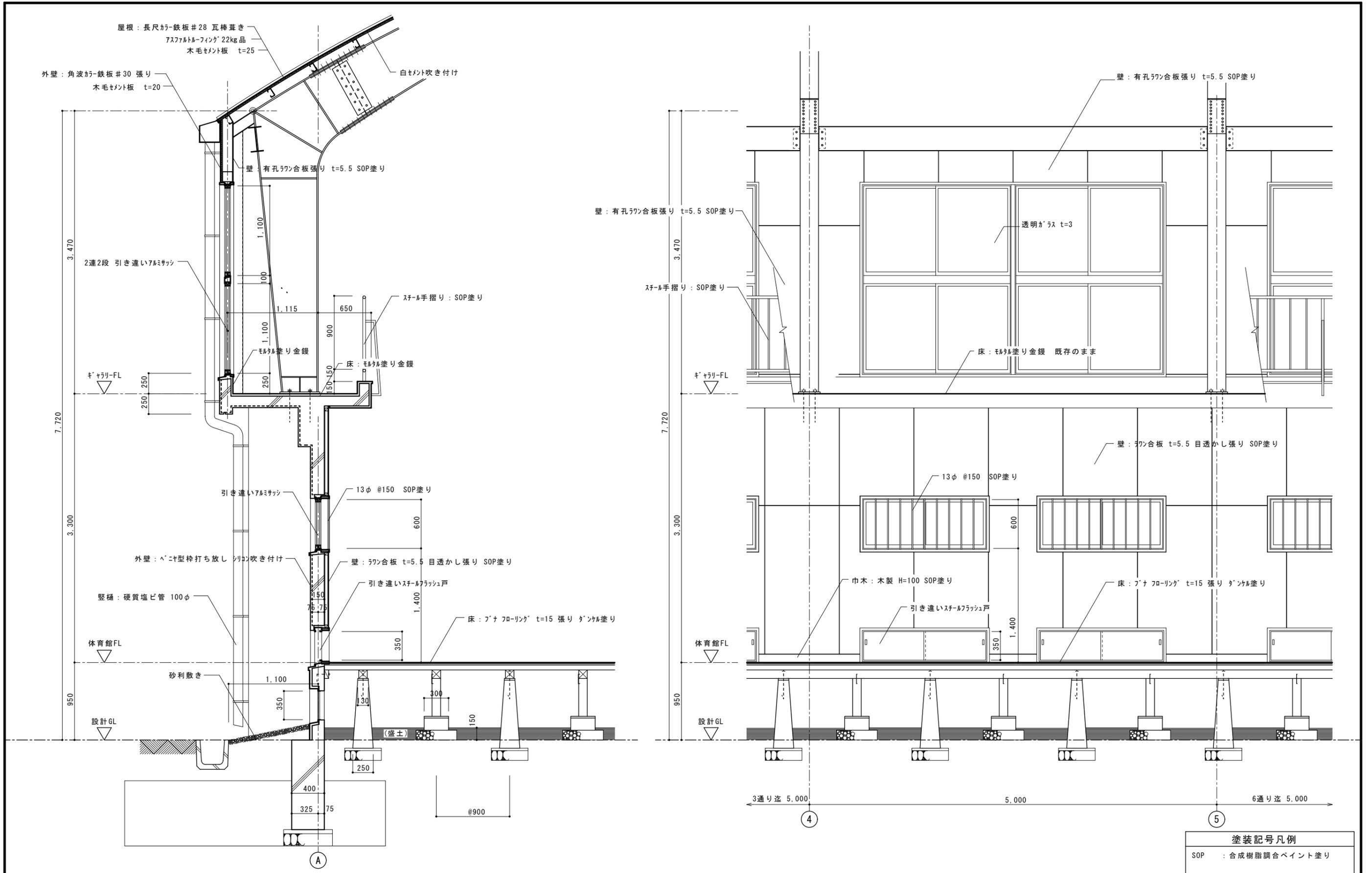
アリーナ1階部：ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）
引き違い窓：W=1500 H=600（障子を取り外してフィルムを貼る。）

新潟市建築設計協同組合 担当設計事務所 酒井建築事務所
管理建築士 一級建築士第69716号 今井孝一 担当事務所管理建築士 一級建築士第103858号 酒井秀晴

新潟市建築部公共建築第1課

工事名 太田小学校屋内体育館耐震補強工事

図名 立面図 2			
年月日	2009.3	縮尺	1/100
図面番号	A-10		



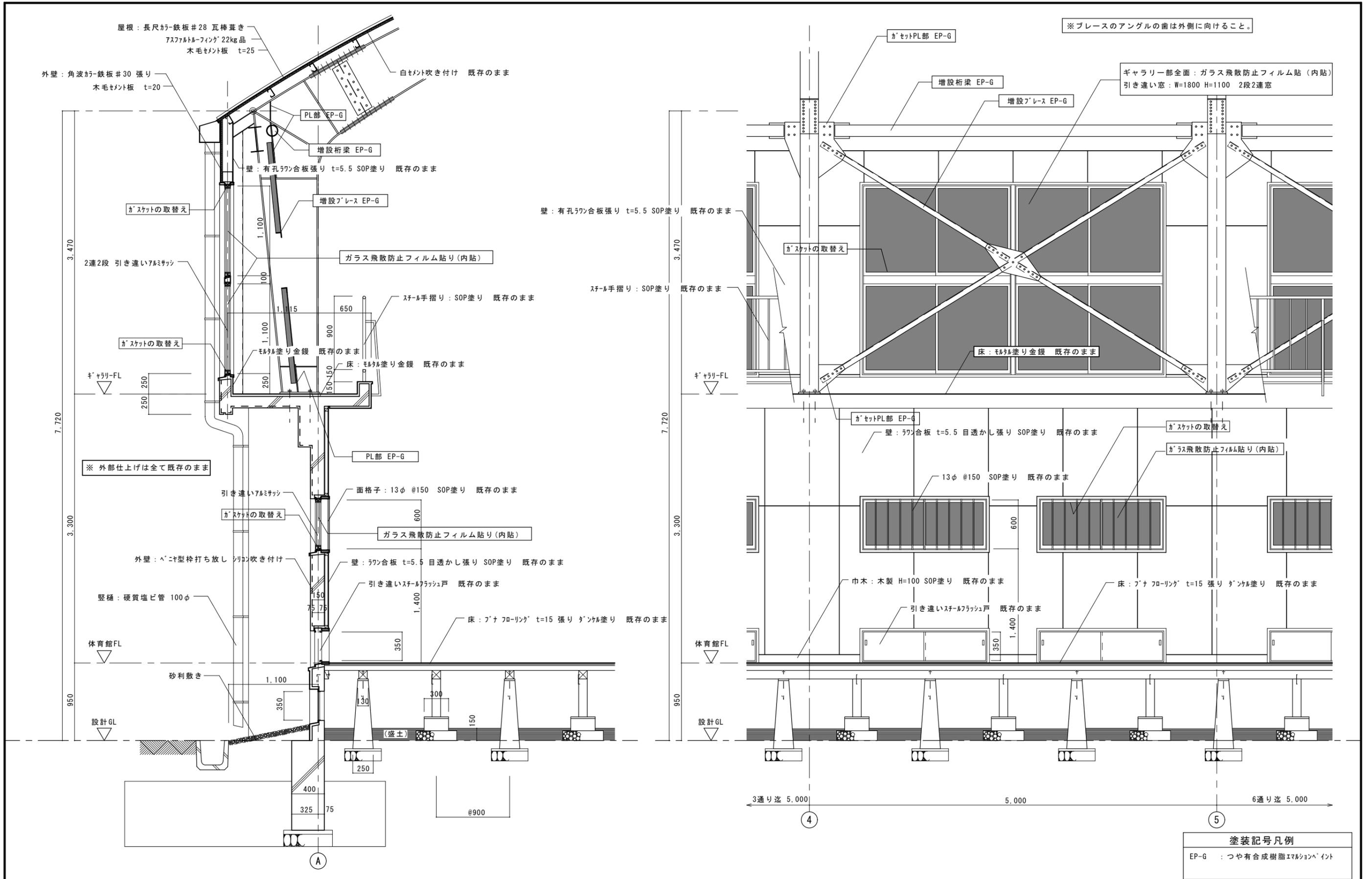
新潟市建築設計協同組合 担当設計事務所 酒井建築事務所
 管理建築士 一級建築士第69716号 今井孝一 担当事務所管理建築士 一級建築士第103858号 酒井秀晴

新潟市建築部公共建築第1課

工事名
 太田小学校屋内体育館耐震補強工事

図名
 矩計図 (改修前)

年月日 2009.3 縮尺 1/30 図面番号 A-11



塗装記号凡例

EP-G : つや有合成樹脂エマルジョンペイント

新潟市建築設計協同組合 担当設計事務所 酒井建築事務所
 管理建築士 一級建築士第69716号 今井孝一 担当事務所管理建築士 一級建築士第103858号 酒井秀晴

新潟市建築部公共建築第1課

工事名 太田小学校屋内体育館耐震補強工事

図名 鉅計図 (改修後)
 年月日 2009.3 縮尺 1/30 図面番号 A-12

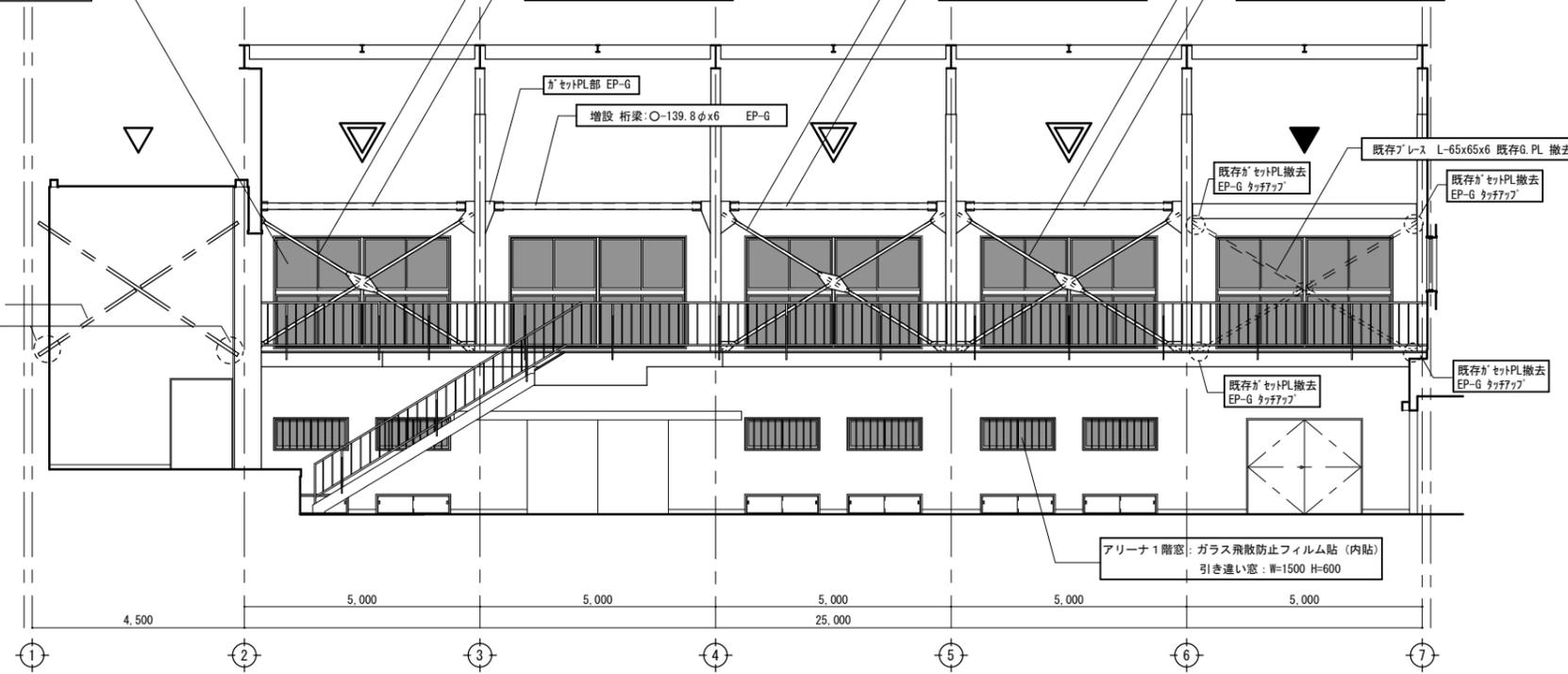
ギャラリー部全面：ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）
引き違い窓：W=1800 H=1100 2段2連窓

増設ブレース：L-65x65x6 EP-G
増設 桁梁：○-139.8φx6 EP-G

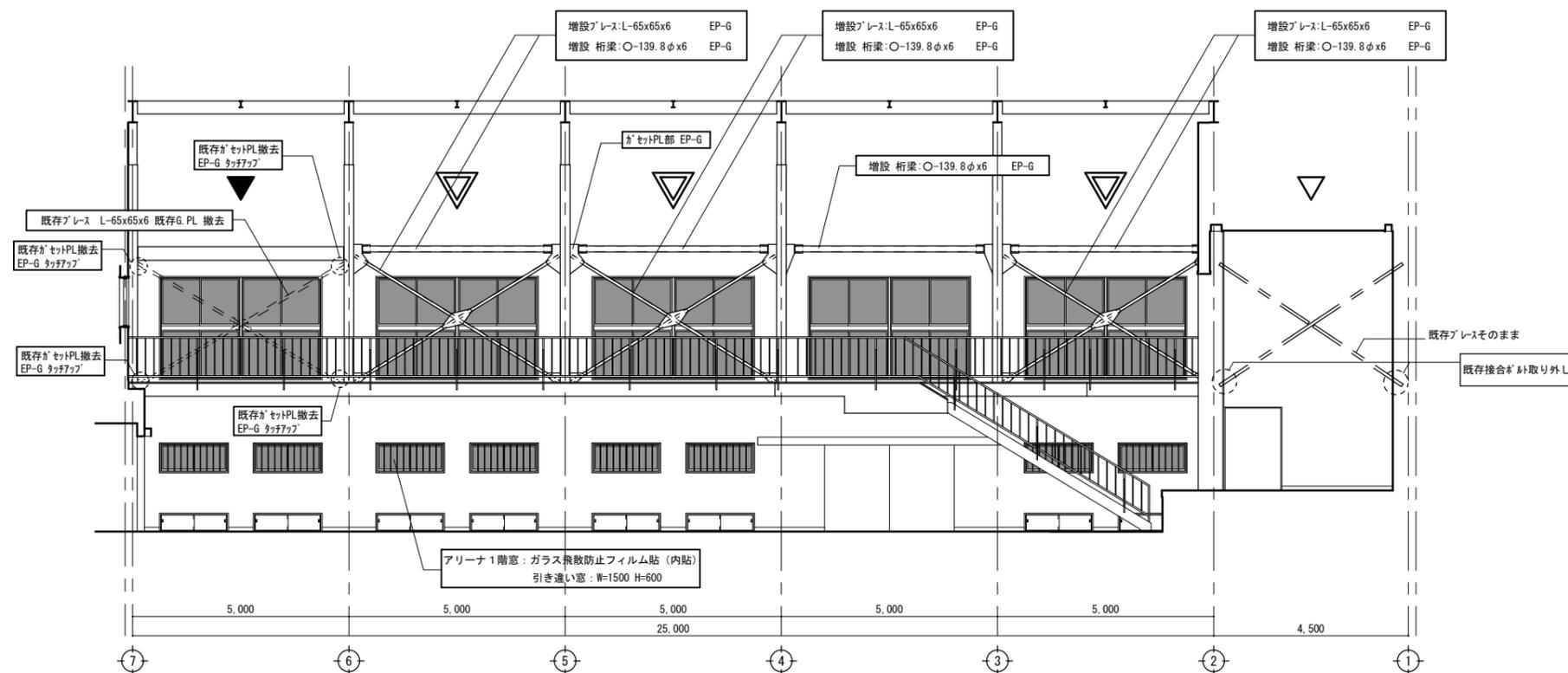
増設ブレース：L-65x65x6 EP-G
増設 桁梁：○-139.8φx6 EP-G

増設ブレース：L-65x65x6 EP-G
増設 桁梁：○-139.8φx6 EP-G

既存ブレースそのまま
既存接合部取り外し

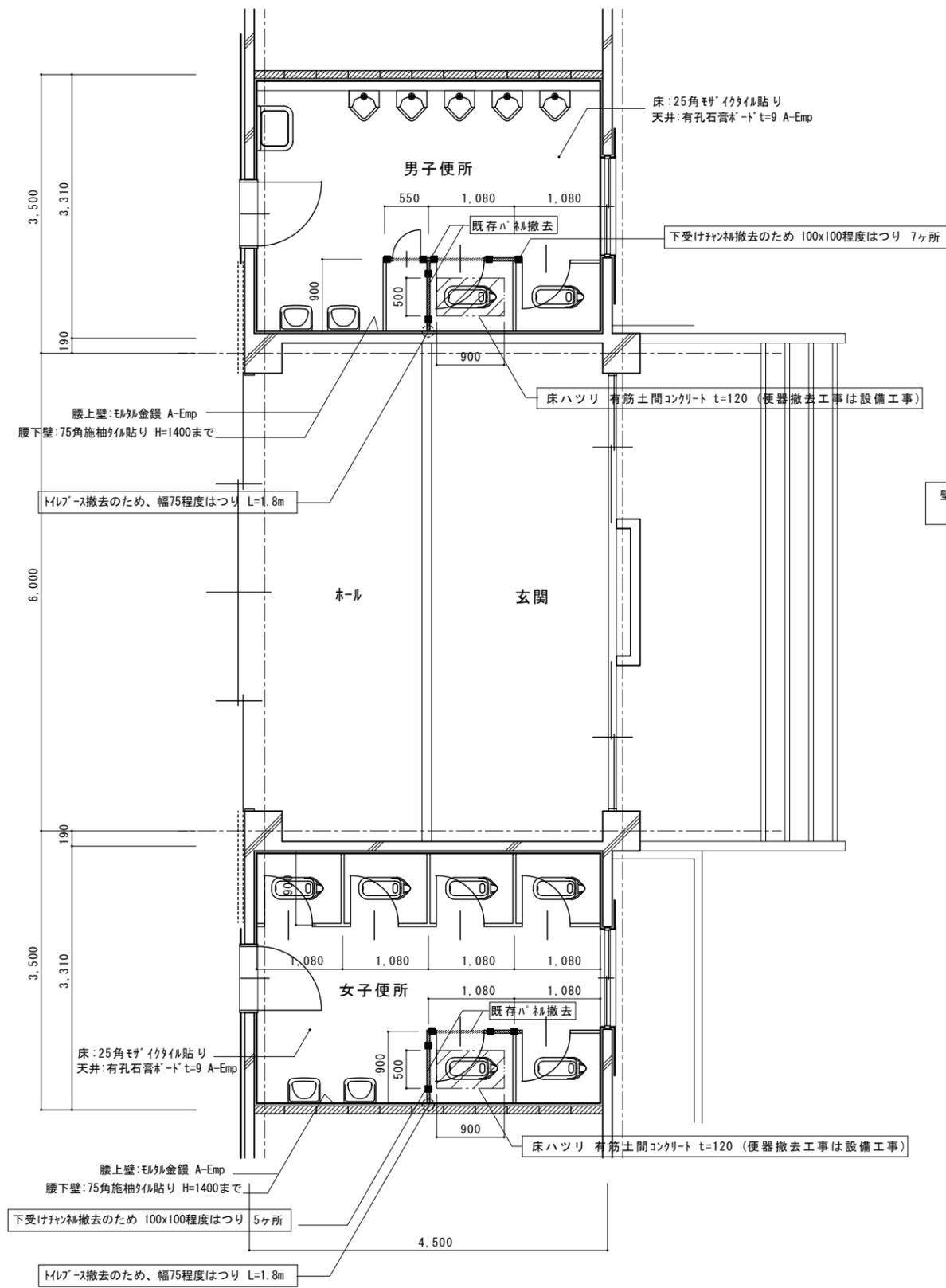


A通り側



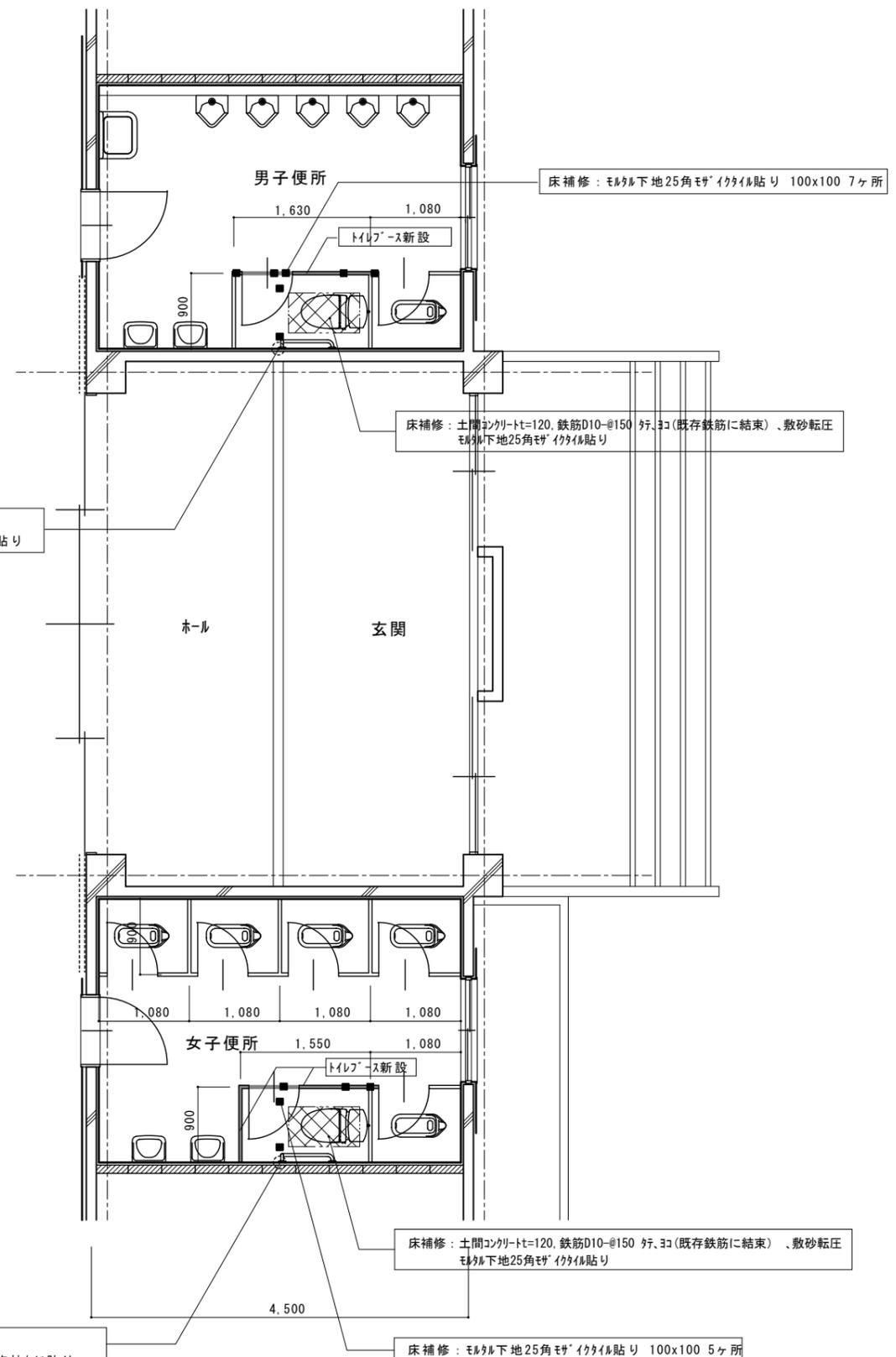
B通り側

凡 例	
	：増設ブレース位置を示す
	：既設ブレース位置を示す（*は取り外し）
	：既設ブレース撤去位置を示す
	ガラス飛散フィルム（内貼り）を示す。

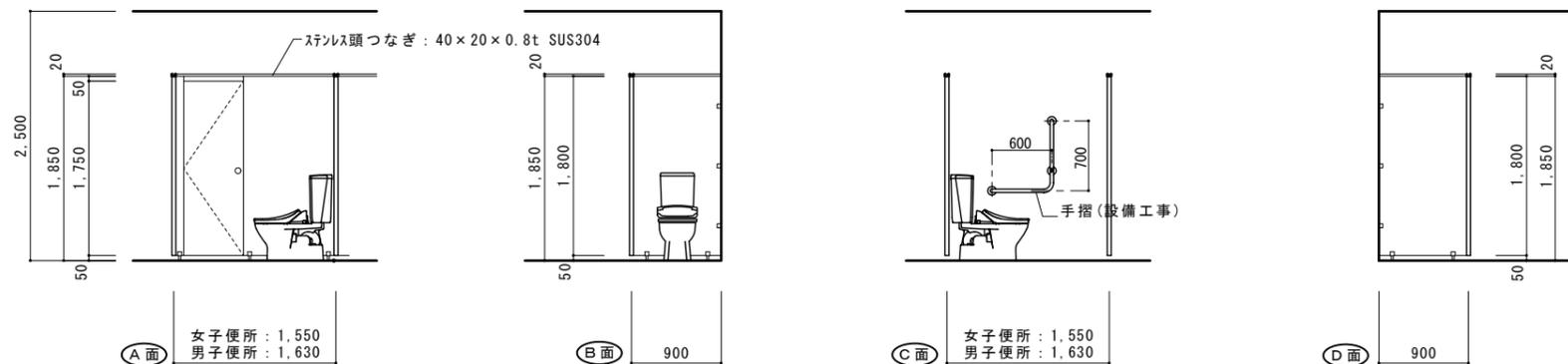
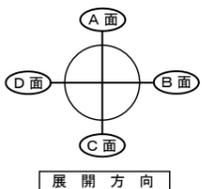
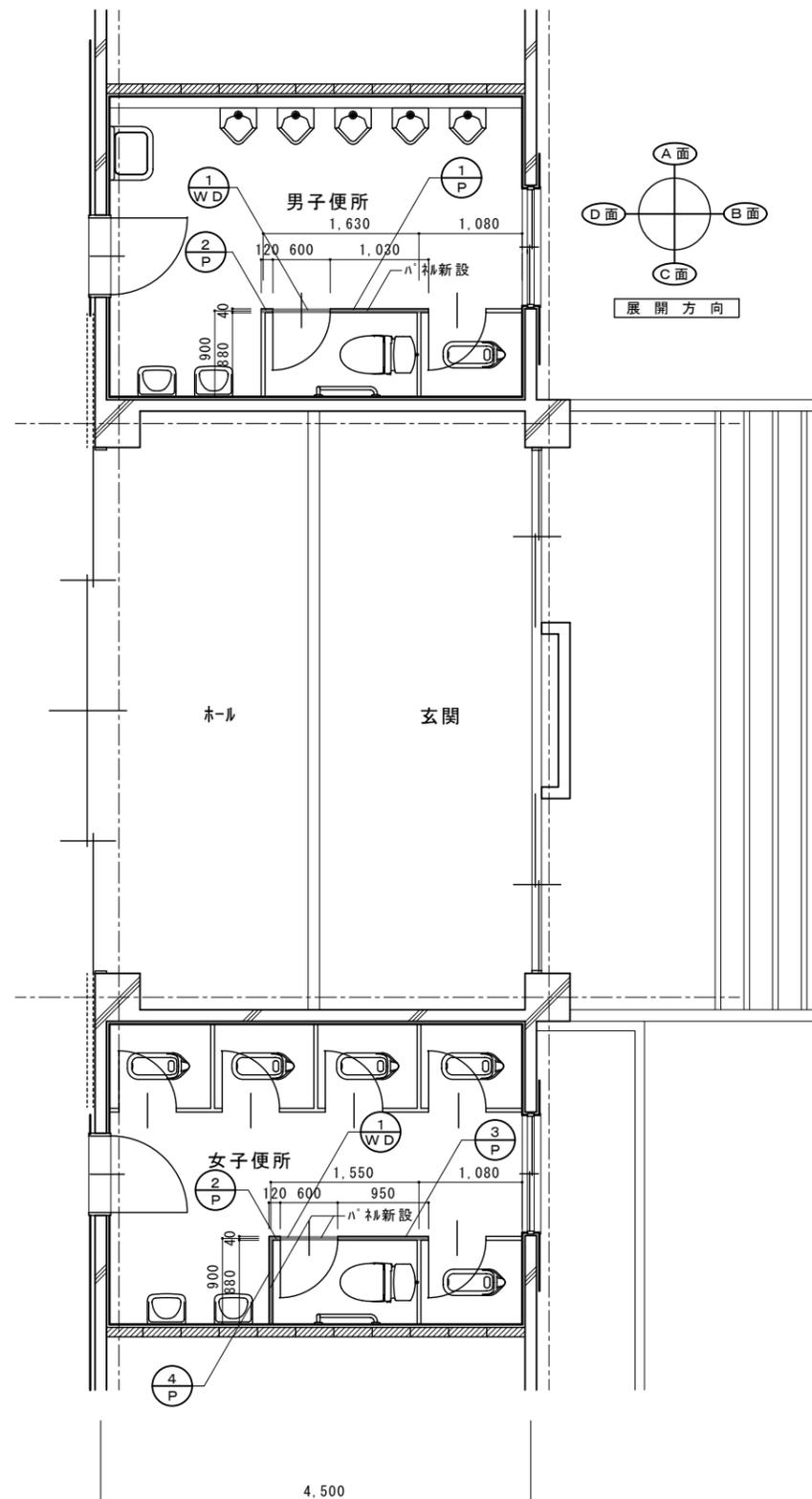


便所平面図(改修前) S=1/50

壁補修: 腰上1.4m~ モタル金銀EP塗り
腰下1.4mまで モタル下地75角施袖タイル貼り



便所平面図(改修後) S=1/50



1階便所展開図 S=1/50

建具表 S=1/50

符号・数量	① W/D × 2	① P × 1	② P × 2	③ P × 1	④ P × 1
形状					
型式	片開きフラッシュ戸 見込 36	フラッシュ隔てパネル 見込 36	フラッシュ隔てパネル 見込 36	フラッシュ隔てパネル 見込 36	フラッシュ隔てパネル 見込 36
材料	ラワン合板t=3 (タイプ1)	ラワン合板t=3 (タイプ1)	ラワン合板t=3 (タイプ1)	ラワン合板t=3 (タイプ1)	ラワン合板t=3 (タイプ1)
仕上	EP-G塗り	EP-G塗り	EP-G塗り	EP-G塗り	EP-G塗り
硝子					
金物	握り玉付き表示錠 ムバトリック ムバトリック 帽子掛け戸当たり	下受けチャンネ	下受けチャンネ	下受けチャンネ	下受けチャンネ 横受けアングル
備考	ステンレス頭つなぎ: 40x20x0.8t SUS304	ステンレス頭つなぎ: 40x20x0.8t SUS304	ステンレス頭つなぎ: 40x20x0.8t SUS304	ステンレス頭つなぎ: 40x20x0.8t SUS304	ステンレス頭つなぎ: 40x20x0.8t SUS304

建具符号図 S=1/50

構造特記仕様書

1. 一般事項

- a) 本標準図は、鉄骨造による耐震補強の、鉄骨ブレース架構・鉄骨枠付きブレース架構に適用する。
- b) 設計図書の優先順位
設計図 > 本標準図 > 公共建築改修工事標準仕様書（平成19年版）
- c) 上記設計図書類に記載なき事項は、監督員と協議する。
- d) 本標準図中、特に単位なき寸法は、mmを示す。

2. 工事計画

本工事は、既存の構造体に鉄骨ブレースおよび鉄骨水平ブレースを増設して補強することにより建物の耐震性の向上および改善を図るものである。
また本工事は、特定された場所での工事で、一般の建築工事とは施工方法等が異なる所があるので、下記の内容に特に注意して施工する。

- ・ 既存建物のスパン・階高及び躯体寸法等は、現地実測による。
- ・ 現地実測寸法に基づいた躯体図を作成し、監督員の承諾を得る。
- ・ 施工に先立ち、工事工程表及び全工事の施工計画書を作成し、監督員の承諾を得る。
- ・ 工事中の騒音・粉塵及び落下物の危険防止を考慮した施工を行う。
- ・ 既存鉄筋コンクリート躯体及び既存鉄骨架構と鉄骨枠付きブレース架構との一体化を図るように、入念に施工をする。
- ・ 設備用埋設管等の有無を事前に調査し、支障のないように施工する。

3. 使用材料

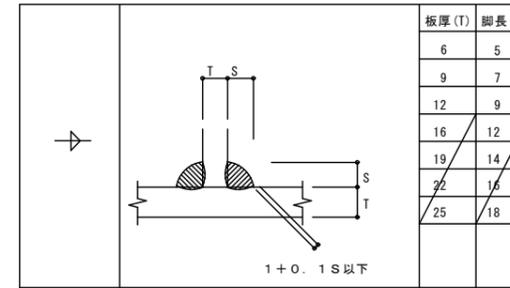
- ・ ~~無収縮モルタル~~ : ~~設計基準強度 $F = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上（圧縮試験はしなくて良い）~~
- ・ ~~コンシステンシー~~ : ~~JIS R 5011 8 ± 2（秒）~~
- ・ ~~普通コンクリート~~ : ~~設計基準強度 $F = 21 \text{ N/mm}^2$ 以上~~
- ・ ~~あと施工アンカー~~ : ~~接着系アンカー カプセル型 有機系~~
~~回転・打撃式~~
- ・ ~~アンカー筋~~ : ~~D16以下 SD295A（JIS規格品）~~
~~D19以上 SD345（JIS規格品）~~
- ・ 鋼材 : 一般はSS400（JIS規格品） 鋼板はSN400B
- ・ 高力ボルト : F10T（JIS形高力ボルト）または S10T（トルシア形高力ボルト）、亜鉛めっき部はS8T（亜鉛めっき材）とする。
- ・ その他の材料 : 上記以外の材料でも、特別な調査・研究成果を示すことにより、監督員の承諾を得て使用することができる。

4. 鉄骨工事

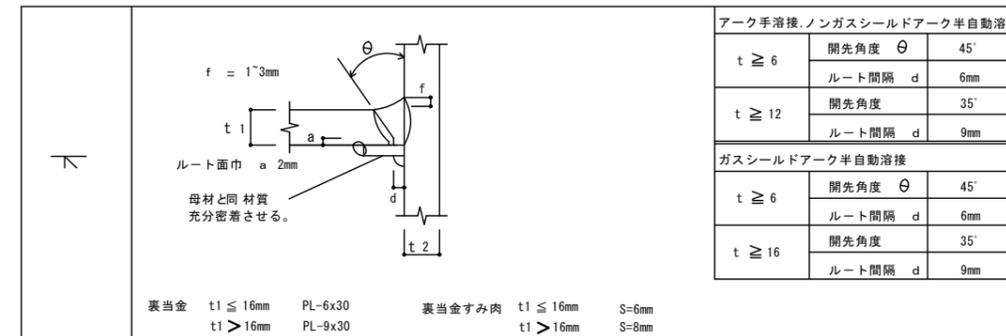
- 鉄骨製作工場 : 建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鉄骨工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「Rグレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は、同等以上の能力のある工場
- 工作図 : 鉄骨現寸検査に先立ち、現地実測寸法に基づいた鉄骨工作図を作成し、監督員の承諾を得る。
- 錆止め塗料 : JASS 18 M-111 水系さび止めペイントを使用し、工場1回塗り、現場1回塗りを原則とする。
- 第三者試験 : 完全溶込み溶接部は、以下の箇所について第三者試験にて、超音波探傷試験を行う。
- 溶接接合 : 建設大臣官庁官庁営繕部監修「鉄骨設計基準及び同解説」（平成10年度版）による。
- 溶接棒 : 低水素系を使用。
- 溶接姿勢 : 立向き溶接は上進溶接とする。

スミ肉溶接標準図

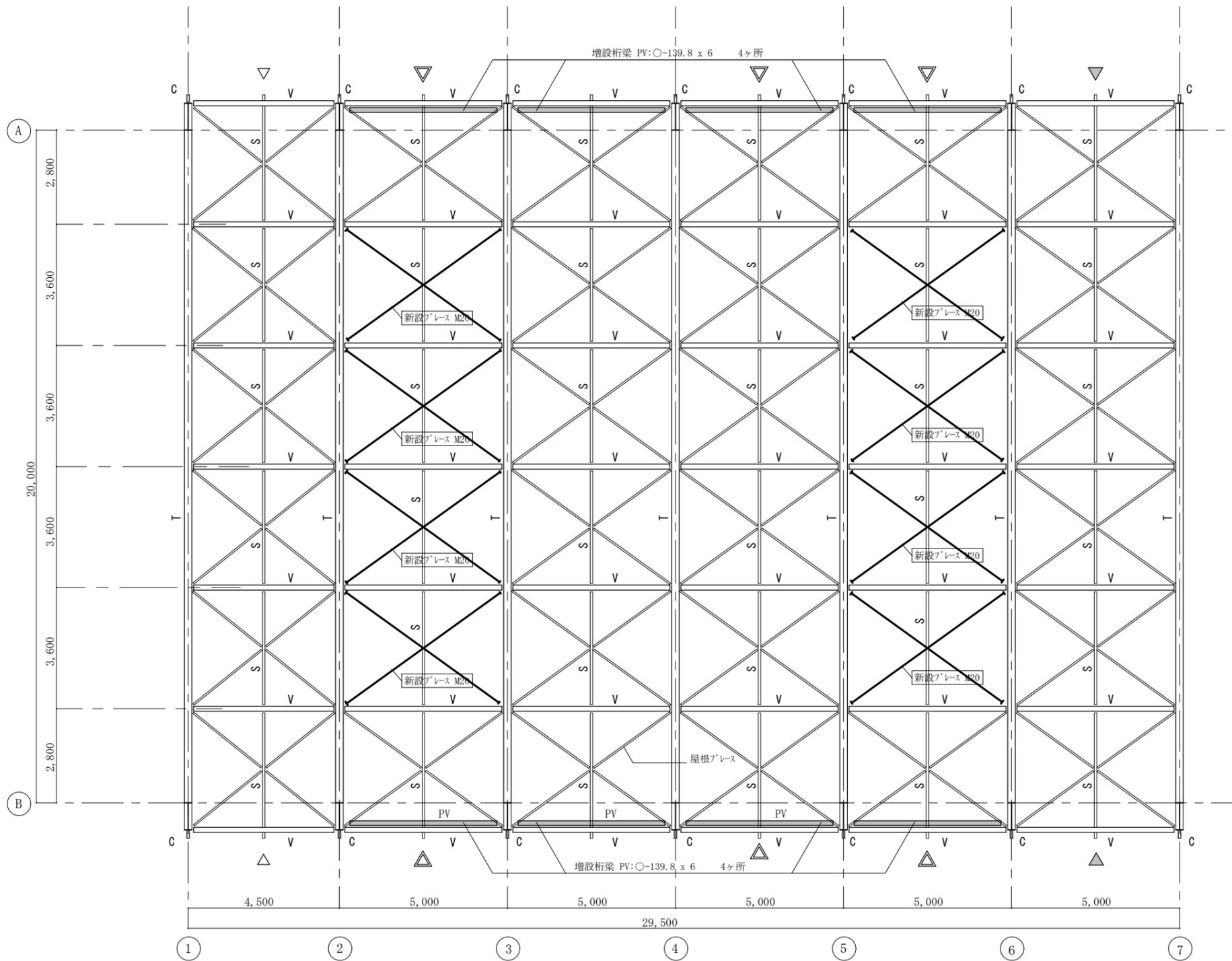
板厚はTの小さい方の値とする。



突合せ溶接 (裏当金つき)



※図面に記載がある場合は図面による。



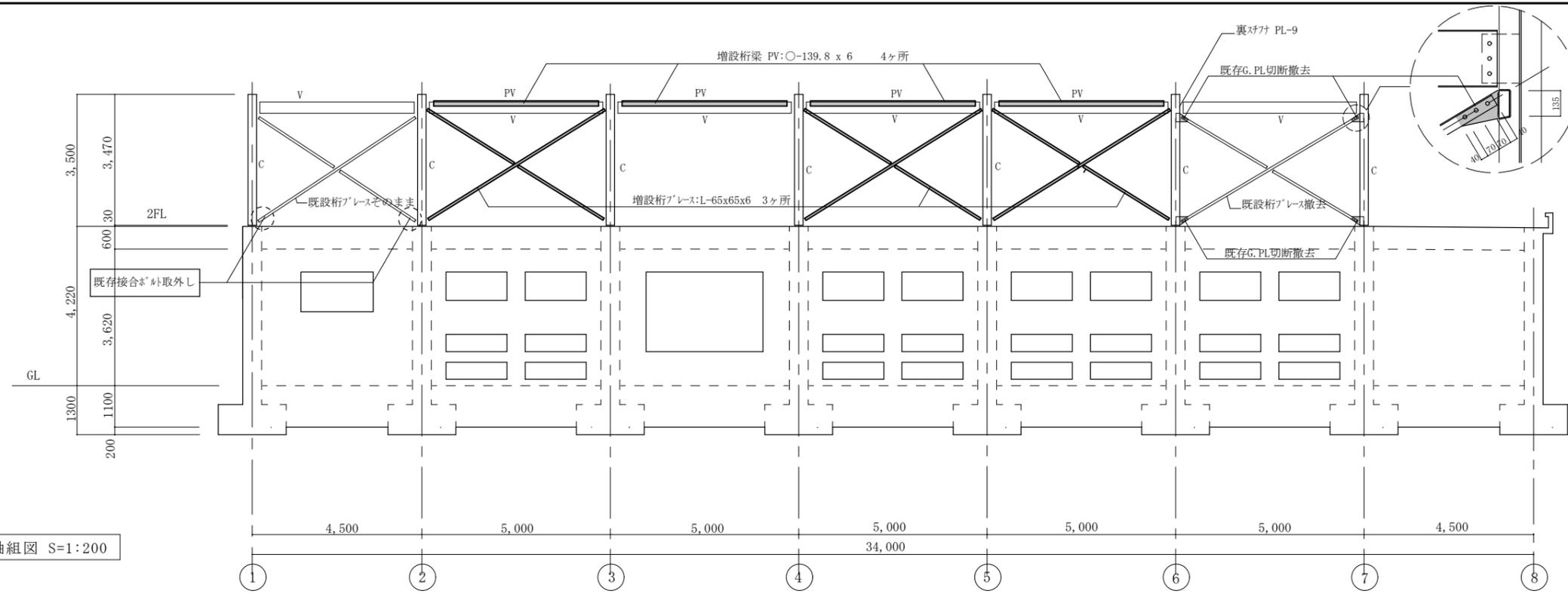
小屋伏図 S=1:100

- 凡例
- ▲ : 増設フレス位置を示す
 - △ : 既設フレス位置を示す(ボルト取り外し)
 - △ : 既設フレス撤去位置を示す

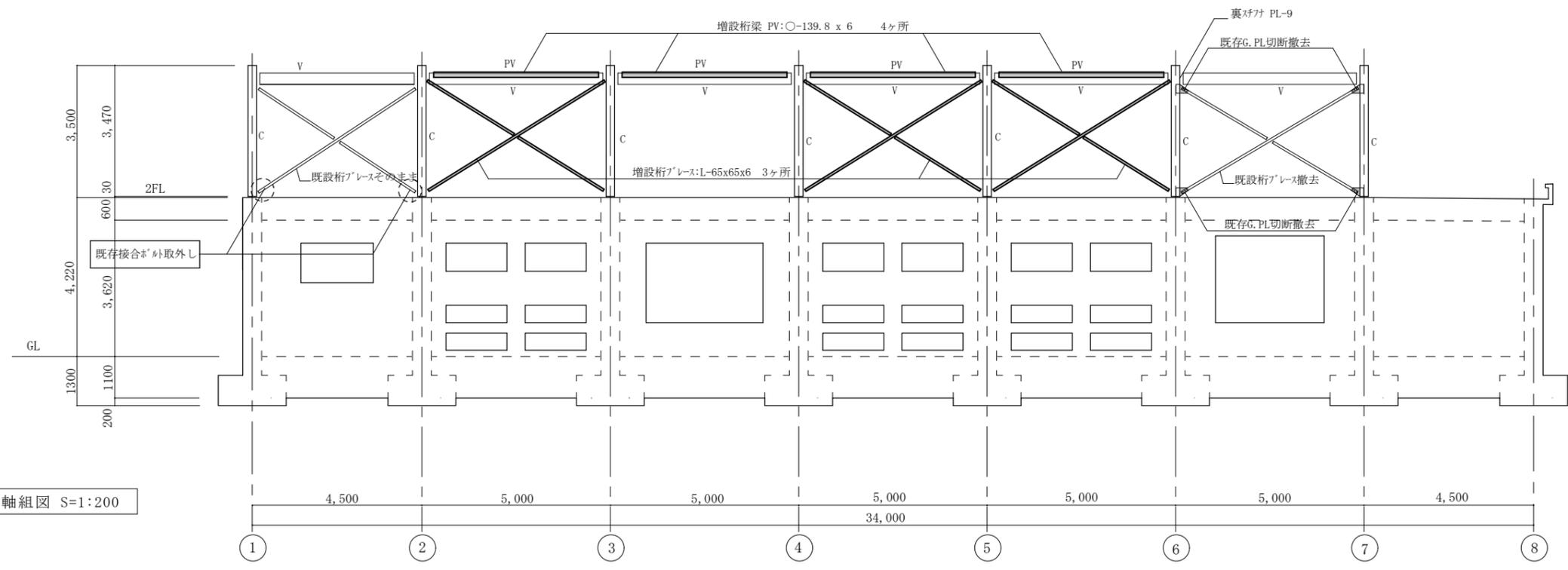
共通事項: 耐震補強の溶接部近辺に火報空気が設置されている場合は、火報空気を防炎シート等で養生の後、溶接作業を行う。

断面リスト	
位置	部材
[増設部材]	
・桁フレス	L- 65 x 65 x 6 G.PL- 12 5-M16
・桁梁 PV	O- 139.8 x 6 羽子板 PL-9x180, リブ PL-9
	接合部 PL- 12 4-M20
・水平フレス	JISタンパツ鋼筋かい M20 G.PL-9 1-M20
[既設部材]	
C	BH- 800~450 x 225 x 12 x 16
T	端部 BH- 800~500 x 225 x 12 x 16
	中央部 BH- 500 x 200 x 9 x 12
V	LH- 300 x 150 x 3.2 x 4.5
S	H- 150 x 75 x 5 x 7
桁フレス	L- 65 x 65 x 6 G.PL-9 3-φ19
屋根フレス	L- 50 x 50 x 6 G.PL-6 3-φ16
モヤ	C-100 x 50 x 20 x 2.3 @606
特記事項	・鉄骨製作にあたっては現場実測の上、寸法を確定してから行うこと。

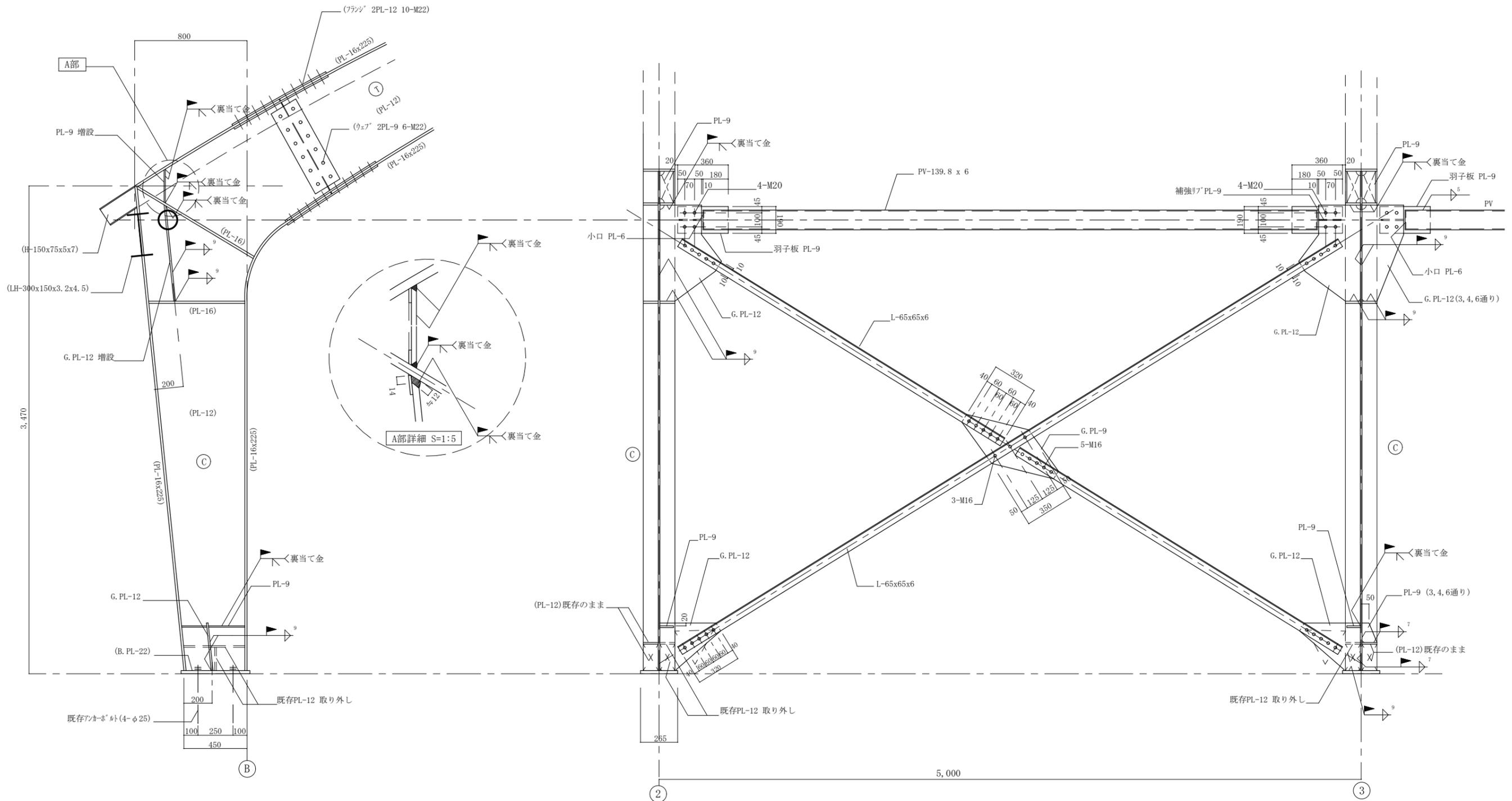
増設、取替え材料の規格	
型鋼	SS 400
パイプ	STK 400
鋼板	SN 400B
ボルト(HTB)	S10T
現場溶接	<ul style="list-style-type: none"> ・既存部材に現場溶接する場合に使用する溶接棒は「低水素系4316」とする。 ・立向き溶接の進行は「上進」とする。 ・両側から隅肉溶接できない箇所は突き合せ溶接とする。 ・立ち向き突き合せ溶接部で、両側から隅肉溶接が可能な場合は隅肉溶接として良い。



B 通り 軸組図 S=1:200

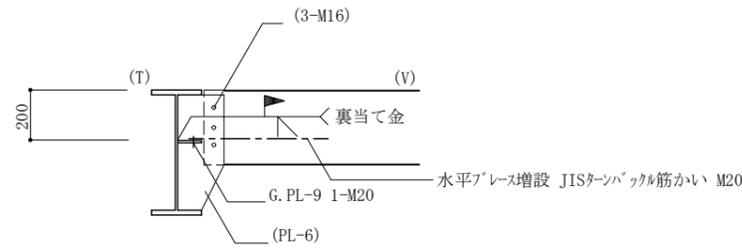
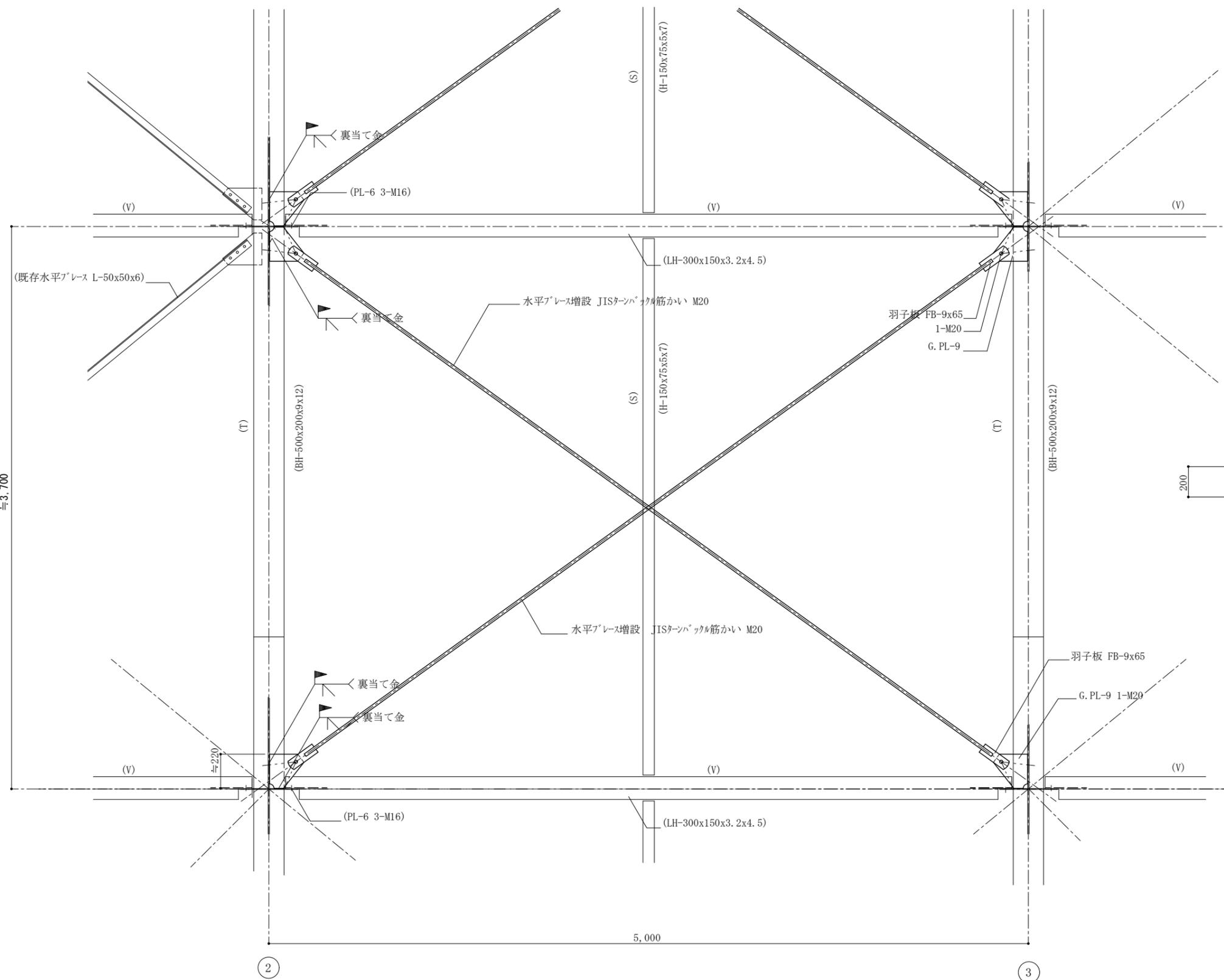


A通り 軸組図 S=1:200



補強鉄骨詳細図 S=1:20

共通事項：()内の部材以外は増設部材とする。
補強プレースの歯は外側に向けること。



水平ブレース取り付け詳細図 S=1:20

屋根増設水平ブレース 鉄骨詳細図 S=1:20

共通事項 ・既設水平ブレースは撤去しない事。
 ・()内部材以外は増設部材とする。